

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患政策研究事業  
分担研究報告書

脊柱靱帯骨化症に関する調査研究  
研究分担者 種市 洋 獨協医科大学整形外科学 教授

研究要旨

頸髄症で手術を受けた者について、それぞれの体質（遺伝）因子や環境因子を調査することで、頸髄症の主たる原因の一つである後縦靱帯骨化症について、その発症や悪化につながる因子の解明を進める。また、術後の患者の予後についても検討し、予後の実態を把握すると共に、良好な予後につながる因子の解明を進める。

A．研究目的

本研究は、当院公衆衛生学講座と整形外科学講座と共同で行う。頸髄症に対して外科的治療が必要となった患者について、その遺伝要因や発症前・発症前後の生活習慣・生活環境に関する調査研究を行い、頸髄症の発症要因や程度に関わる要因、そして予後に影響する因子を明らかとすることを目的とする。特に主たる原疾患である OPLL については、遺伝子解析も含めた発症や予後に関わる因子の詳細な検討を行う。

B．研究方法

本研究の対象者は、獨協医科大学病院整形外科の患者及び関連医療機関整形外科の患者で、頸髄症の手術を受けたことのある者

- (1) 予定症例数：400 例
- (2) 研究期間：倫理審査委員会承認日から  
西暦 2022 年 3 月 31 日 まで

C．研究結果

唾液の採取による遺伝子検査  
既往歴・家族歴・生活習慣・生活環境に関する調査

頸髄症の病歴・原疾患、術前後の画像評価(病変の範囲、最狭窄部位、胸椎病変の有無、頸椎 ROM)、JOA スコア、JOACMEQ スコア。

以上の内容を調査し、現在約 40 例の症例を収集できた。

D．考察

現在調査中

E．結論

現在調査中

F．健康危険情報

総括研究報告書にまとめて記載

G．研究発表

1. 論文発表  
なし
2. 学会発表  
なし

H．知的財産権の出願・登録状況

( 予定を含む )

1.特許取得

なし

2.実用新案登録

なし

3.その他

なし

